

人をつくる。 未来をつくる。 創業以来の理念。

稚内しんきんの経営理念は、昭和36年に、井須孝誠経理課長(後の理事長・会長・最高顧問)が提案し制定された次の〈信条〉に集約され、稚内しんきん発展の礎となっています。この信条がもつ普遍のポリシーは、時代が変わり、人が変わっても、脈々と受け継がれています。

信 条

- 稚内信用金庫は地元と共に繁栄します。
- 一、勇気と矜りをもって限りなき進歩を、そして発展を。
 - 一、お客様には親切に、早く、正確に、そして真の奉仕を。
 - 一、従業員には安定した生活を、そして幸福を。
 - 一、会員には良質な資金の供給を、そして公正な配当を。
 - 一、より強固な基礎を築く為に蓄積を、そして大きな信用を。

マーク コンセプト

白い丸は日の出の太陽と和、そして清潔さを表し、“光は北方から”を象徴する。周囲のオレンジ色は、北方圏の夜明け、そして若々しい情熱と暖かい心を表し限りなき進歩を象徴する。

ブルーの部分は母なる豊かな海を表し、中央の利尻富士を形どった山とともに、当金庫の発祥と、よってたつ基盤を象徴する。

白い丸を囲む全体の形はWakkanaiのキャピタルレターWを形づくる。



昭和54年、職員の作品をベースにこのシンボルマークとキャッチフレーズ「こころのかよう」が制定されました。ともに当金庫のイメージを代表するものです。